

近代教育学と浄土真宗

人間・教育・宗教の根本問題を問う浄土真宗的教育人間学

かわむら かくしろう

川村覚昭 著 ▼A5判・上製カバー・301頁 定価 七、七〇〇円

2024年3月刊行



近代教育学の功罪を指摘し、大乘精神を具体化する親鸞の浄土真宗の立場から、浄土真宗的教育人間学の体系化を目指す。

【目次】

まえがき

I 序説 現代と浄土教

第一章 ニヒリズムと仏教教育——近代教育の根本問題を問う

II 現代人間学と仏教教育

第二章 仏教教育の人間学的基礎——仏教教育の特質と可能性

第三章 生きる力の臨床教育人間学的考察

第四章 ランゲフェルドの「子どもの人間学」と西田哲学と親鸞思想

第五章 教育学における親鸞思想の人間学的位置——近代教育学の脱構築に向けて

III 近代教育学と親鸞思想

第六章 近代教育学の根本問題と「心の教育」の仏教的基盤——近代的思维から仏教的思维へ

第七章 浄土教の視点から心の教育を考える——親鸞の三心釈を中心に

第八章 浄土の教育学——教育の構造と「私」の本質

IV 浄土真宗と人間形成

第九章 浄土真宗の建学精神——真宗の学問観と教育の可能性

第十章 人間形成と浄土真宗の社会倫理

第十一章 教育における妙好人的心性の陶冶——人間形成上の宗教の意味

V 後語

まとめ

第十四章 自律した仏教教育学の構築について

——宗教の学習権の獲得に向けて

あとがき

索引

◆著者略歴

川村覚昭（かわむら かくしろう）

一九四八年京都市生まれ。京都大学教育学部卒業、一九七七年京都大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。一九八五年スイス・チューリッヒ大学客員研究員。二〇〇三年京都大学より博士（教育学）。京都産業大学文化学部教授、大谷大学文学部教授、佛教大学教育学部教授を経て、二〇一八年退職。現在、松下社会科学振興財団理事、日本仏教教育学会名誉理事、浄土真宗本願寺派法輪寺住職ほか。「研究領域」教育哲学、教育人間学、教育思想史、仏教教育学、親鸞と人間形成、ドイツ現代哲学と人間存在、西田哲学と日本文化。【著作】『島地黙雷の教育思想研究』教育の根源的論理の探求』ほか、共著、編著、論文多数。

注文書	様冊
(書店印)	ご担当
川村覚昭著	法藏館 定価 七、七〇〇円
近代教育学と浄土真宗	住所
人間・教育・宗教の根本問題を問う浄土真宗的教育人間学	お電話
ISBN: 978-4-8318-5582-4 C3015	お名前

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

教育・真宗